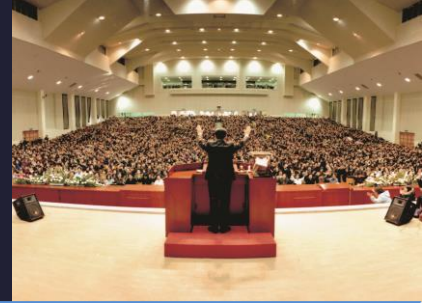


恵みと真理のニュース



2019年08月の四次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】

苦難と逆境を通して神様に対する 堅固な信仰を持つようになり助け くださる神様の手を体験しまし た

私が6歳時、私の家庭はソウルからアンサンに引っ越しをして恵みと真理教会の聖徒になりました。アンサンに聖殿が建てられる前だったので伝道した首区域長をつけてアンサン聖殿を通いました。両親はとも熱心に教会を通いました。特に母の篤実な信仰を持っていたので私は幼い時から今まで主日礼拝を休んだことがありません。母が熱心に伝道して区域礼拝を捧げるため平日の私の家は村のおばさんたちと子供達でいっぱいでした。そして、週末には多くの男性の執事達が私たちの家で男性区域礼拝を捧げました。アンサンに恵みと真理教会の聖殿が建てられてからは一週間ずっと聖徒達でごった返しました。主日にはいつも遅くまで両親が家にいませんでした。平日にも私が体が痛くて早く学校から帰って来ても母の温かい手を感じられなくて母は伝道しに行かれて家にはいなかったです。それでたまには母が熱情的で信仰生活をするのが嫌な時もありました。

二親のように熱心に信仰生活をするのが大きい福であることを知らなくて思春期には母に反抗もしました。主日礼拝には一度も休んだことがありませんが、代わりに教会で行う修練会は一度も参加しませんでした。大学に入学してもそのような生活が続くなり教会の奉仕と主にささげる献身に対して深く考えたことがありません。大学の寮で同じ部屋を使っていた友達が毎日朝祈りを捧げて熱心に御言葉を黙想する姿を見て私の信仰生活を顧みて反省をしましたが、その時だけでした。私が大学を卒業した年に IMF になり、父が運営していた事業が結局、不渡りをしました。家が競売で売られ毎日家を空けなさいと毎日のように電話が来て、債権者が家に訪れて門を叩きました。家族が結局20年間、住んでいた家から追い出されなければならなかったです。

その時、私は熱心に放送局の入試試験の準備してました。何としても就職をして家庭経済に役に立ちたかったです。放送局の入試試験には失敗して放送プログラムを作る会社の制作部所に入りました。しかし、給料が少なく家計に役に立たなかったです。その後、私の家は5回も引っ越しをしました。弟は軍隊に行き、姉は中でも結婚をして両親と私は大変な時間を我慢しなければならなかったです。

家を回復させようと強く思いました。私は切ない心で神様を探し求めました。その時から熱心に朝祈り会も通い神様に助けを求めました。その頃から大学のルームメイト先輩がアメリカに留学をされました。私は家計の状況があまりよくなかったので不可能な事でしたが神様が助けくださると私も留学が可能だと確信をしました。必ず成功して再興させたかったです。熱心に塾で講師として働いて集めたすべてのお金で私も留学に行きました。

アメリカのシアトルに到着したその日の夜、親が見たくて泣きながら寝ました。その日の夜、天使と天国が登場して主の声を聴くような奇異な夢を見ました。苦難と逆行でも切なく神様を仰ぎましたが、その時、救いの確信がなかったです。起きたら恥ずかしい信仰を叱られる神様の御声があまにも生々しかったです。ひとりで寂しくアメリカで留学を初めて2週が過ぎてから、電話番号簿から韓人教会を探して電話をして帰って来る主日に教会に行きました。ちょうどイスター礼拝でした。礼拝を捧げる時に涙が止まらなかったです。その後、神様の恵みと愛を感じながら楽しく留学生活をすることが出来ました。生活に活力も探して仕事も探し、大学院に入学する前に勉強する学校を決めて登録もして住む部屋も探しました。その過程で私と共にしてくださる神様を体験しました。毎日驚くような奇跡を経験しながら、一日3時間しか寝なくて頑張って勉強をして働きました。主日学校の教師として奉仕しながら週末には休まずに教会で過ごしたが、その時間がとても幸せでした。

大学の進学を控えて教会の執事から紹介してもらって楽器を担当する先生と交際をして結婚しました。私は大学院を辞めて旦那が入学した学校があるボストンに引っ越ししました。慣れてない所での生活はやさしくなかったですが、神様が共にして下さり私たちは幸せだ

ったし神様の助けと導きに感謝しながら過ごしました。旦那と共に主と教会を仕えました。

私が成功して家を再び立ち上げようとした計画と目標は成し遂げられなかったですが、韓国で私よりもっと熱心に親と共に主を仕えた弟が軍隊で除隊した後、銀行員になり、様々な状況の中でも助けてくださる神様の福が望まれ私の家が再び立ち上がることが出来ました。苦難を受けて神様に近づく過程で私に愛する旦那と主の恵みが充満な家庭が建てられ神様に対する堅固な信仰が出来ました。私が成し遂げられなかった夢を神様が弟を通して成し遂げて下さいました。神様の大きい福を受ける弟の信仰と愛、主に對する弟の献身を考えれば考えるほどありがたいです。

旦那が卒業をして10年ぶりに韓国に戻りました。4年が過ぎた今、経済的にまだ大変ですが、神様が御言葉と聖霊の恵みでいつも私と共におられるの信じて心がいつも平安になりました。神様を黙想する時ことに新しい力が湧き出ます。何も恐れなかった留學生生活をする時を思い出すと勇気が出ます。その時、聖霊様が与えてくださった信仰が成長して今は区域長の職分と教師の職分を受けて教会と學生達を仕えています。

今まで私が信仰の道で倒れなく私の手を強くつかんで下さり、いつも信仰と希望を考えるように私の心と考えを守ってくださった神様、本日の両親の見習って熱心に信仰生活をして主の中で真の楽しさと幸せを享受するようにしてくださる神様に感謝捧げます。

最近、私は恵みと真理教会で神様にいつも感謝賛美を捧げています。“どんなことでも、思い煩うのはやめなさい。何事につけ、感謝を込めて祈りと願いをささげ、求めているものを神に打ち明けなさい。そうすれば、あらゆる人知を超える神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守るでしょう。”二人の娘と手をつないでスーパーマーケットに行く時も、家事をするときにもこの賛美を歌います。人生を生きる様々な苦難を経験するでしょう。しかし、その時こそ神様と近くなる驚くような神様の摂理の手を感じる時間になると教訓を体験を通して悟りました。私の過去と現在と未来すべてことが私を愛する神様の計画と摂理を通して成し遂げられていることを信じ、神様にすべての栄光を捧げます。“神様、愛します。”



【信仰コラム】

わたしとわたしの家とは共に主に仕えます

“...あなたがたの仕える者を、きょう、選びなさい。ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます” (ヨシュア 24:14, 15)

人の一生に最も重要で優先されることがあります。それは神様に仕えることです。神様に仕えることと関連して人々を分類してみます。

第一は、神様に仕えようとする心のない部類の人々があります。

神様は全ての人に永遠な死後世界や永遠な神様の存在に対する意識を与えて下さいました。無神論者が持っている問題は神様を意識する認識能力におらず、神様の存在を故意に否定してしまう意志にあります。共産主義体制で人々を騙し、無慈悲に支配するためには自分の良心に起きる呵責押えるしかないので共産主義は無神論に基盤を置かなければなりません。共産主義体制では宗教の自由を許さなく、抑圧する理由がここにあります。

第二は、神様に対する正しい知識を持たなかった部類の人々があります。

この世には数多くの宗教があります。しかし、神様がどなたであるかを知らなくて神様を空しく仕える人々が多くいます。このような人々に関して旧約聖書のイザヤ 44 章に次のように記録されています。偶像崇拜者達は同一な木を持って神像を作りその前で福を願う

用途として使用する一方、体を暖かくして食べ物を食べるための燃料にも使います。偶像崇拜者達の問題は彼らが神様の御言葉を聞けなかったり、聞くことを拒むことにあります。

第三は、神様の御言葉が記録された聖書を持ったにも関わらず、自意に解釈して神様に対して歪曲された知識を持った部類の人々があります。

イエス様はユダヤ人達が聖書を歪曲に解釈して信じることを直に現されて責め、教えられたが頑なで心が鈍くなった彼らは却ってイエス様を排斥しました。古里であるナザレを訪問なさったイエス様が安息の日に会堂に入り言われる時でした。今日もナザレの人々のようにイエス様を誤解する人々が多くいます。聖書を自分の思い通りに解釈するので神様に対して歪曲された知識を持っています。異端もそのような部類に属します。

第四、神様が行われる奇異で驚くべきなことを目撃して感服して神様の権能を証言しながらも依然として偶像に仕える部類の人々があります。

ダリヨス王は獅子の穴に投げ込んだダニエルが無事なことを見て全民にこのように勅令を發表しました。“わが国のすべての州の人は、皆ダニエルの神を、おのき恐れなければならない。彼は生ける神であって、とこしえに変えることなく...”。しかし奇異にもダリヨス王は依然として偶像に仕えました。この世には神様の行われることを見て、聞いて、体験しながら神

様がおられることを知りながらも仕えない部類の人々があります。

第五は、神様を知って一生の間変りなく仕える部類の人々があります。

イスラエル民の指導者ヨシュアが世を離れる時が近付いたことを感じて民の指導層の人々を集めて告別の説教をしました。そして“ただし、わたしとわたしの家とは共に主に仕えます”と自分の意志的な決断を明らかに表現しました。続いて民達に“もしあなたがたが主を捨てて、異なる神に仕えるならば、あなたがたにさいわいを下されたのちにも、ひるがえってあなたがたに災をくだし、あなたがたを滅ぼしつくされるであろう。”としました。神様に仕えるには固い決心と覚悟があるべきです。サタンが艱難、逼迫、誘惑と様々な奸計で私達の信仰を崩そうとするからです。皆さんは、ヨシュアのような心情を持ってこのように言ってください。“私は神様の光栄と威厳に対する聖なる恐れを持って神様に仕えます。恭敬する心で礼拝しながら仕えます。信頼と従いで仕えます。真実と愛で仕えます。イエスキリストの神様だけに仕えます。”

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

イエスが制定された聖餐の儀式



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

あらゆるのクリスチャンが参詣する神聖な儀式として聖餐とバプテスマがあります。聖餐とバプテスマは、教会が行うべき神聖な義務であり祝福な特権です。バプテスマは、イエスが命じられた神聖な儀式です。イエスが天に昇りの前に「それゆえに、あなたがたは行って、すべての国民を弟子として、父と子と聖霊との名によって、彼らにバプテスマを施しなさい」（マタイ 28:19）と命じられました。イエスが命じられたもう一つの神聖な儀式は聖餐です。バプテスマは一度さえ受けるが聖餐は聖徒が重ねて参詣します。聖餐は、イエスが取られて渡される夜に夕食の席で制定されました。私たちの教会は、毎月一週間は聖餐の儀式を挙行します。私たちは、その意味と定めを正しく知って参詣します。これから本文に記録された聖餐の儀式の意味を見てみましょう。

第一は、「私は、主から受けたことを、また、あなたがたに伝えたのである」と言われた意味を見てみましょう。

イエスは、罪人を救うためにこの世に来られた神様の独り子であります。イエスが30歳の公的な活動を始めました。そして3年半にわたる活動をした後、神が定められた時になってエルサレムに上って行きました。イエスは捕縛された夜に彼の弟子たちと過越の食事をしました。テーブルの周りに十二弟子の一人が自分を裏切ることをイエスが予告しました。その後、イエスは祝福してパンをさき弟子たちに与えて「受けて食べなさい。これはあなたのための私の体である」と言われました。その次にはぶどう酒さかずきを与えながら「食事ののち、杯をも同じようにして言われた、「この杯は、わたしの血による新しい契約である」と言われました。

使徒パウロは、彼がコリント教会に伝えた聖餐の儀式の起源を明らかにしました。「私はあなたがたに伝えたのは主から受けたのである」としました。「主から受けたもの」という言葉には二つの意味があります。「聖餐の儀式は、イエス・キリスト以外には誰も制定することができないだろう」という意味があります。もう一つは「聖餐の儀式は、教会がイエス・キリストから受けた極めて貴重で祝福の遺産である」という意味があります。ですから、私たちが聖餐の儀式に参詣することをすごい特権であるのを知らなければなりません。

第二は、「これを行いしてわたしを記念せよ」と言われたの意味を見てみましょう。

主イエスは渡される夜に感謝の祈りをささげパンをさき言われた「これはあなたがたのための、わたしのからだである。わたしを記念するため、このように行いなさい」として「食事ののち、杯をも同じようにして言われた、「この杯は、わたしの血による新しい契約である。飲むたびに、わたしの記念として、このように行いなさい」としました。「記念」というのは「思い出させ覚えなさい」という意味です。イエスが私たちの罪を贖いして、わたしたちを救うために十字架にくぎつけられ、血を流して死んだことを、私たちは常に覚えるべきである聖餐の儀式のパンとぶどう酒はイエスの壊れた体と流された血の象徴です。

イエスは私たちのために悲惨な苦しみを受けました。尋問する者たちが、イエスにつばを吐き拳と手のひらで打ちました。兵士たちがいばらの冠をイエスの頭にかぶらせ嫌がらせし十字架を負わられてゴルゴタの丘に上がるようにして手と足を十字架にくぎつけられました。イエスが死なれると兵士が死んだことを確認しようと槍でわき腹を突きさすと、水と血が流れました。聖餐の儀式のパンと杯は、私たちのために苦しみを受け死なれたイエス・キリストを覚えることです。

贖いの死を死んだイエス・キリストは死からよみがえられました。葬られた三日目に死の力から勝ち再びよみがえられました。したがって我々は、聖餐の儀式のパンと杯を食べ飲むときに死なれたイエスを覚えるだけでなく、よみがえられたイエスを覚えなければなりません。聖書にはこう書いています。「主は、わたしたちの罪過のために死に渡され、わたしたちが義とされるために、よみがえらされたのである」（ローマ 4:25）。聖餐の儀式を行いながら、私たちのために死んで復活されたイエス・キリストの記憶を新たにしてください。

第三には、「この杯は、わたしの血による新しい契約である。飲むたびに、わたしを記念として、このように行いなさい」と言われた意味を見てみましょう。

「新しい契約」というのは「古い契約」があったことを教えてください。「古い契約」は、アダムからノアに、ノアからアブラハムに、アブラハムからモーセに、モーセからダビデにつながってきて、ますます明確しながら、イエスの「新しい契約」に至ってはその意味が完全に明らかになった。「この杯はわたしの血で立てた契約」としました。神の契約は、血をもって締結されることを意味します。

イスラエルの民は、彼らの祖先がエジプトの奴隷生活から解放されたことを記念する「過越の晩餐」を行います。イエスは、この「過越の晩餐」を弟子たちとの「最後の晩餐」で行いながら「聖餐の儀式」を制定しました。イエスがパンとぶどう酒を自分の体と血に例えましたが、これは過越の子羊の犠牲は、イエスに比喻で救いのためのモデルと影という事実を明らかに現れることです。過越の祭りは、古い契約に属するものであり、聖餐の儀式は、新しい契約に属するものです。聖書の中で「契約」とは、すべて神の救いの計画を約束の形で明らかにした一種の立法行為です。旧約の贖罪の祭祀儀式は古い契約です。古い契約を追って捧げた物の血そのものとしては贖罪の力がありません。イエスが来られなかったら無意味な祭祀儀式に過ぎないです。しかし、イエスが流された新しい契約の血そのものが贖罪の能力を持っています。そして、その贖罪の力は永遠です。

古い契約は、神とイスラエルの民の間に結ばれた限りの契約であるが、イエス・キリストの血による新しい契約は、全世界の民に向けたものであり、誰でも信じる者は皆の恵みを受けます。私たちは聖餐の儀式で、ぶどう酒の杯を受取る時、「この杯はわたしの血で立てた新しい契約である」という言葉の意味を深く考えてください。

第四は、「だから、あなたがたは、このパンを食し、この杯を飲むごとに、それによって、主がこられる時に至るまで、主の死を告げ知らせるのである」と言われたの意味を見てみましょう。

聖餐の儀式でパンを食べ、杯を飲む行為は、イエス・キリストの贖いの死を伝えることです。イエス・キリストの贖いの死は私たちが伝播しなければならない福音の中心内容です。イエス・キリストを偉大な思想家、慈善家、成人君子、社会改革家と言って、これらの生活を手本にして行うことがキリスト教の根本的な使命であると主張する人は、疑似非クリスチャンです。使徒パウロは「十字架の言は、滅び行く者には愚かであるが、救にあずかるわたしたちには、神の力である」（コリント人への第一の手紙 1:18）しました。聖徒の皆さんは、聖餐にあずかる「このパンを食べ、この杯を飲むたびに「イエス・キリストの死による救いの福音を広く伝えると定めて決めてください」。

第五は「主がこられる時に至るまで、主の死を告げ知らせるのである」という言葉の意味を調べてみましょう。

「来られるまで」と言うのはキリストの再臨を意味します。聖餐の儀式は、イエス・キリストの再臨の約束を内包しています。聖餐の儀式は、イエス・キリストの死を記念するものでも、キリストの再臨の確証です。聖餐の儀式は永遠に続きません。イエスが再び来られるまでです。聖書には、再臨の前兆が多く記録されています。終末とイエスの再臨に関する預言がほとんど行なわれた時代に私たちが住んでいます。宗教多元主義と同性愛の蔓延、交通手段が高度に発達されるのと情報伝達と収集の爆発的な増加の預言がわずか半世紀もかからず行なわれました。ノアの時と同じで、ロトの時と同じだろうという主の預言は、今日世界的に現実になりました。聖徒の皆さんは、聖餐の儀式にあずかるパンを食べ、杯を飲みながらイエスの再臨を心から願い、また、主の再臨の希望に満たされるように願います。

第六は「だから、ふさわしくないままでパンを食し、主の杯を飲む者は、主のからだを犯すのである」と言われた意味を見てみましょう。

「ふさわしくないように食べたり飲んだりする者」とは、主のパンや杯が何を意味するかを知らないで食べ、飲む人を指します。自分が罪人であるという考えのために聖餐に参詣することを好まないはずはありません。「ふさわしくないように食べたり飲んだりする者」とは、イエス・キリストを信じなく聖餐の儀式の参詣してパンを食べ、杯を飲む人を指します。このようにふさわしくないように聖餐の儀式を行うと、これはキリストの体と血の罪を犯すこととなります。分別せずにふさわしくないように食べたり飲んだりする者には、主の懲戒が臨むこともあります。

イエス・キリストを信じる人は誰でも聖餐の儀式に参詣することができます。聖餐の儀式が持っている意味と価値を知って、正当な姿勢で参詣する聖徒に聖餐の儀式は極めて祝福されて有益です。聖徒の皆さんは、聖餐の儀式の深い意味を知って喜びと感謝が充満の心で参詣してをください。